

クマタカ

Spizaetus nipalensis orientalis

タカ目 タカ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 IB



わが国に生息するものは日本固有亜種。低山から亜高山帯の森林に周年生息し、林内でノウサギやヤマドリ、小鳥類、爬虫類を捕食する。巣は、針葉樹の高木に作る。他のタカ類より翼は幅が広く、後縁部は膨らんでいる。イヌワシと生態が似ているが、クマタカの方がより森林に依存している。生息地である森林の伐採や、スギ、ヒノキへの樹種変換などにより、営巣木となる高木が少なくなり、餌となる動物が減少して生息環境が悪化している。また、剥製や飼育のための捕獲圧も高い。

(写真：林 謙治 文：島岡 章)

県内分布 県内全域の森林部に生息する留鳥。

分布域 北海道、本州、四国、九州の山地の混交林に生息する留鳥。
中国南部、台湾では留鳥。タイ、マレーシアでは越冬。

鳥

類